

令和7年新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、御家族ともども穏やかな新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

本年3月は、マイナンバーカードと運転免許証の一体化や更新時講習にオンライン講習が導入されるなど、運転者の利便性の向上や負担軽減のため、新たな免許制度の運用開始が予定され、諸準備が進められているところであります。

さて、昨年中の県内における交通情勢につきましては、交通人身事故発生件数・負傷者数は減少しましたが、死者は49人と前年比2人増加しました。特に死者のうち高齢者の占める割合は約7割を超えるなど、高齢者が関係する死亡事故が増加しました。また、中高生が関係する通学時の自転車事故は、依然として全国ワースト1位を継続するなど、高齢者対策や中高生を対象とした事故防止対策が課題であると認識しているところであります。

当協会におきましては、平素の交通安全活動や各季の交通安全運動では、各地区の交通安全協会を中心に、関係機関団体等と協力して様々な交通安全諸対策を推進してまいりました。

特に、高齢者の交通事故防止対策としては、女性部が地域の高齢者宅を訪問して、交通安全に向けたアドバイスを行うとともに、普段使用している靴に反射材を直接貼る「足元に生命（いのち）の発信運動」を推進したほか、県警察が推進している「高齢運転者ミーティング」に交通安全教育車「ふれあい号」を派遣しました。

こどもの交通事故防止対策としては、小学校に入学する県内の全新1年生に、黄色い交通安全傘約1万5千本を贈呈しました。

また、昨年から名称を変えた交通安全ポスターコンクールには、主に小中学校から約400作品の応募が寄せられ、その優秀作品を各種広報媒体に活用するなど、こどもから高齢者まで、全世代を対象とした広範な交通安全対策を実施したところです。

本年は、第11次群馬県交通安全計画の最終年であります。

これまで実施してきた取組を更に発展強化するなどして、交通事故総量の減少に向け、組織一丸となって各種交通安全対策を講じる所存です。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多い年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和7年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会

理事長 町田 錦一郎